

子どものおたふくかせ ワクチンの公費助成を

紀由紀子
(公明党)



妊娠初期の女性が感染すると赤ちゃんが難聴や白内障、心臓病などを伴う「先天性風疹症候群」の恐れがある。風疹の予防接種の周知啓発や無料の抗体検査を行わないか。

① 榎原村では、おたふくかせ(流行性耳下腺炎)の予防のため本年7月からワクチンの任意接種の公費助成を実施した。罹患して難聴になることもあり一生に

関わることもなる。(ア)公費助成を行わないか。(イ)医師会から話はあるか。(ウ)半額助成すると財源は300万円程度必要とのことだが行うべきである。

健康寿命延伸の鍵は「フレイル予防」

遠藤百合子
(自民党・信頼)



① フレイルとはストレスに対する回復力が低下した状態を表す。高齢者の男性7割、女性の9割がフレイルになる統計を見ると、早期の発見と対策が必要である。(ア)予防施策の現状とフレイル予防の重要なポイント

は、(イ)基本の食と口腔ケアの実践及びまちづくりの環境で、フレイル予防事業小金井モデルの創設を。

② 今後の小学校入学予定者増加が予想される。(ア)人口統計調査の将来予測は、(イ)学級数と学級人数のバランス等の年次計画は、(ウ)学区域再編成の考え方は、

児童虐待の防止のために

湯沢綾子
(自民党・信頼)



① 目黒区で余りにも痛ましい虐待事件が起きた。児童相談所の虐待対応件数は年々増加し、人手不足が心配される中、市町村との役割分担も重要な課題である。

② 乳幼児健診を未受診の子どもはリスクが高いと言われる。未受診者の所在や状況等を把握しているか。

③ 学校や教職員は虐待を発見しやすい環境にあるか。疑いを発見した場合の迅速な対応はとれているか。

住宅での福祉サービス・医療の充実

斎藤康夫
(市民会議)



(ア)日本では、精神科入院患者の社会的入院数が多いと問題視されている。国や都の今後の意向はどうか。

② 今後の小学校入学予定者増加が予想される。(ア)人口統計調査の将来予測は、(イ)学級数と学級人数のバランス等の年次計画は、(ウ)学区域再編成の考え方は、

③ その他、「LGBTの理解と周知」「薬物乱用防止」について質問しました。

かまどベンチ・訪問医療・子どもオンブズ

田頭祐子
(生活者ネット)



① 東京都の避難所運営の指針には、女性の視点に配慮したチェックシートがある。市のマニュアルは対応しているか。

② 不登校、いじめについて。子どもの権利侵害は無くなっていない。救済までの運営マニュアルも見直す。

③ 環境部長 (イ)今後の計画は地域安全課と協議し防災計画での位置づけが必要。

市民常識に適合した庁舎・福祉会館建設に

渡辺大三
(情報公開)



庁舎・福祉会館建設について。(ア)広場・緑地面積を最大にできる配置案(B-2案などが参考となる)を採用すべき。形式的な説明会ではなく、全住民アンケート等の手法で市民の意向を確認すべき。

② 環境部長 (ウ)市としてCreed2で決定したので仮移転の準備を進めている。議員ご提案のものについては、やはりB-2かC-2が早道である。

③ その他、「市長の選挙公約は緊急に40億円を生み出す人件費の削減だった。しかし、総額人件費が就任以来増えている。公約に反すると認めるか」について質問しましたが、市長から答弁はありませんでした。

ケースワーカーを行政のトッパーランナーに

片山 薫
(市民力エール)



① (ア)小田原市を参考に生活保護のしおりの改善とHPでの掲載を。(イ)エアコン設置の周知と修理代を住宅維持費で。(ウ)担当ケースを1人80世帯以下に。女性、経験者、専門職の配置を。

② (ア)いじめ防止条例は、当事者の意見反映、子ども

③ その他、「社会教育と公民館活動による住民自治を市の政策基本に」というテーマで質問しました。

介護保険サービスの在り方について問う

森戸洋子
(日本共産党)



① 国の施策は問題だが、高齢者が安心して在宅で過ごすため、医療と介護の連携体制が求められている。

② 都市整備部長 (ア)要請を受け、新小金井駅や東小金井駅南口の商店会等に説明するよう連絡した。

③ その他、「社会教育と公民館活動による住民自治を市の政策基本に」というテーマで質問しました。